



板橋区立蓮根第二小学校
蓮二だより

— 蓮根 小中一貫学びのエリア —
— コミュニティ・スクール委員会 —

令和7年度

9月特別号

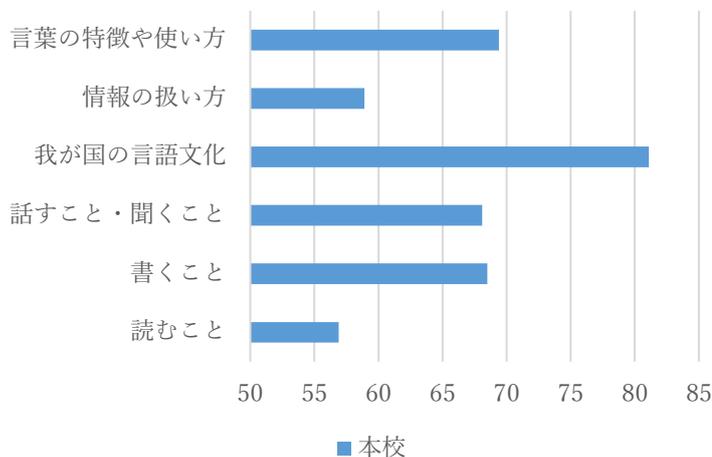
令和7年9月8日

TEL 03(3967)2282 FAX 03(3969)8359 URL <http://ita.ed.jp/edu/hasu2es/>

令和7年4月に行われた「全国学力・学習状況調査（6年）」の結果が出ましたのでお知らせいたします。

| 国語 | | | 平均正答率（％） | | |
|-----------|---------------|--------------------|----------|---------|--------|
| | | | 本校 | 東京都（公立） | 全国（公立） |
| 全体 | | | 65 | 70 | 66.8 |
| 学習指導要領の内容 | 知識及び技能 | （1）言葉の特徴や使い方に関する事項 | 69.4 | 77.9 | 76.9 |
| | | （2）情報の扱い方に関する事項 | 58.9 | 66.9 | 63.1 |
| | | （3）我が国の言語文化に関する事項 | 81.1 | 83.8 | 81.2 |
| | 思考力、判断力、表現力等 | A 話すこと・聞くこと | 68.1 | 69.9 | 66.3 |
| | | B 書くこと | 68.5 | 72.4 | 69.5 |
| | | C 読むこと | 56.9 | 61.0 | 57.5 |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 69.7 | 76.6 | 74.5 | |
| | 思考・判断・表現 | 63.8 | 67.1 | 63.8 | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | | | | |
| 問題形式 | 選択式 | 65.3 | 68.7 | 64.7 | |
| | 短答式 | 73.3 | 80.0 | 78.5 | |
| | 記述式 | 54.4 | 59.3 | 58.8 | |

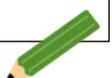
平均正答率（％）



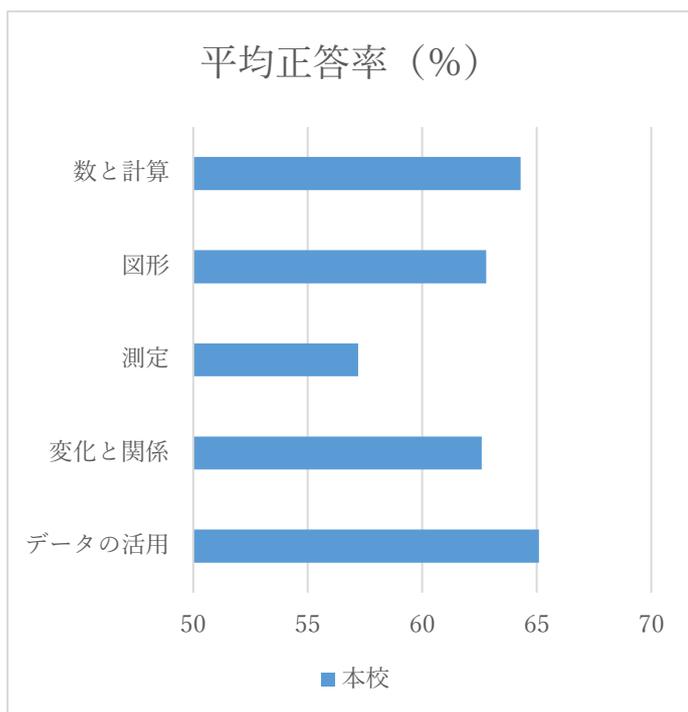
本校の結果は、全国の平均正答率より－1.8％でした。東京都の平均からは－5％でした。

誤答が多かったのが、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける問題でした。また、漢字を文の中で正しく使うことや、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」に比べて、「読むこと」に関しては苦手な児童が多いことが分かりました。

全ての教科領域の学習で大切な「OUTPUT」する力を育てるために、今後も各学年の発達段階に合わせた指導の充実を図り、子どもたち一人ひとりに読解力や書く力を身に付けさせていきたいと思っております。



| 算数 | | 平均正答率 (%) | | |
|-----------|---------------|-----------|----------|---------|
| | | 本校 | 東京都 (公立) | 全国 (公立) |
| 全体 | | 62 | 64 | 58.0 |
| 学習指導要領の領域 | A 数と計算 | 64.3 | 68.3 | 62.3 |
| | B 図形 | 62.8 | 61.2 | 56.2 |
| | C 測定 | 57.2 | 60.5 | 54.8 |
| | C 変化と関係 | 62.6 | 64.9 | 57.5 |
| | D データの活用 | 65.1 | 67.6 | 62.6 |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 70.0 | 70.9 | 65.5 |
| | 思考・判断・表現 | 52.2 | 54.4 | 48.3 |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | | | |
| 問題形式 | 選択式 | 74.6 | 73.5 | 67.2 |
| | 短答式 | 66.1 | 69.3 | 64.0 |
| | 記述式 | 37.8 | 40.7 | 34.9 |

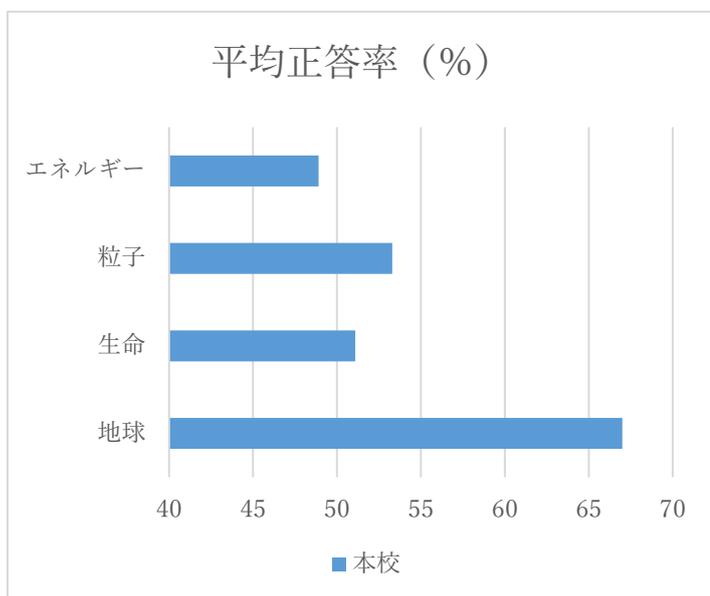


本校の結果は、全国の平均正答率より+4%でした。また、東京都の平均からは-2%でした。角の大きさを求める問題や、基本図形を分割して図形の面積の大きさを求める問題などは、正答率が高く、東京都の平均を上回っていました。しかし、目的に応じて適切なデータを活用しながら解く問題や、共通する単位分数を基にした分数の加法計算の問題などでは、誤答が多かったです。

全国や東京都の結果に比べて「図形」は平均正答率が高かったのに対して、「測定」に関しては苦手な児童が多いことがわかりました。また、記述式の問題は、正答率が50%を下回るものが多く見られました。考えたことを自分の言葉で説明したり、書き表したりする力を伸ばしていくための授業改善を図ります。



| 理科 | | | 平均正答率 (%) | | |
|------------------|---------|----------------|-----------|----------|---------|
| | | | 本校 | 東京都 (公立) | 全国 (公立) |
| 全体 | | | 58 | 60 | 57.1 |
| 学習指導要領 の区分・領域 | A 区分 | 「エネルギー」を柱とする領域 | 48.9 | 49.9 | 46.7 |
| | | 「粒子」を柱とする領域 | 53.3 | 53.7 | 51.4 |
| | B 区分 | 「生命」を柱とする領域 | 51.1 | 54.1 | 52.0 |
| | | 「地球」を柱とする領域 | 67.0 | 69.1 | 66.7 |
| 評価の観点 | | 知識・技能 | 54.7 | 57.7 | 55.3 |
| | | 思考・判断・表現 | 61.4 | 61.2 | 58.7 |
| | | 主体的に学習に取り組む態度 | | | |
| 問題形式 | | 選択式 | 56.3 | 57.9 | 54.7 |
| | | 短答式 | 70.6 | 70.6 | 69.7 |
| | | 記述式 | 44.4 | 46.6 | 45.2 |



本校の結果は、全国の平均正答率より+0.9%でした。また、東京都の平均からは-2%でした。また、「エネルギー」、「粒子」、「生命」を柱とする領域と比べて、「地球」を柱とする領域の平均正答率が高い結果となりました。

赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、実験の条件制御をしたり結果を予想したりする問題は正答率が高く、東京都の平均を上回っていました。一方、誤答が多かったのは、身の回りの金属について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に対する知識を問う問題でした。

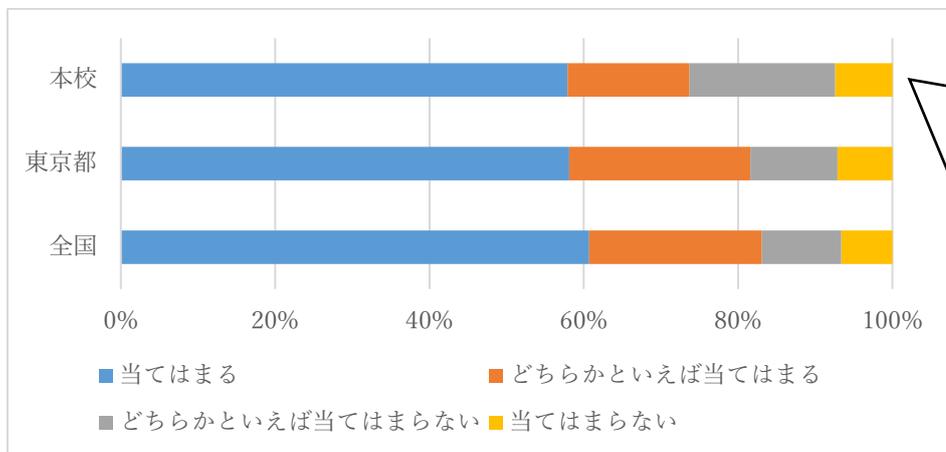
既習内容や生活経験を基にした根拠のある予想を立てさせたり、実験計画を立案する際は条件制御を意識させたりするなど、今後も引き続き授業改善を図っていきます。



「児童質問調査」(6年)の回答の中で、特に今後の教育活動や家庭での過ごし方に関わると思われる内容について、下記に取り上げました。学校での取組に生かすとともに、御家庭におかれましても参考になることがありましたら、生かしていただけるとありがたいです。

将来の夢や目標を持っていますか。

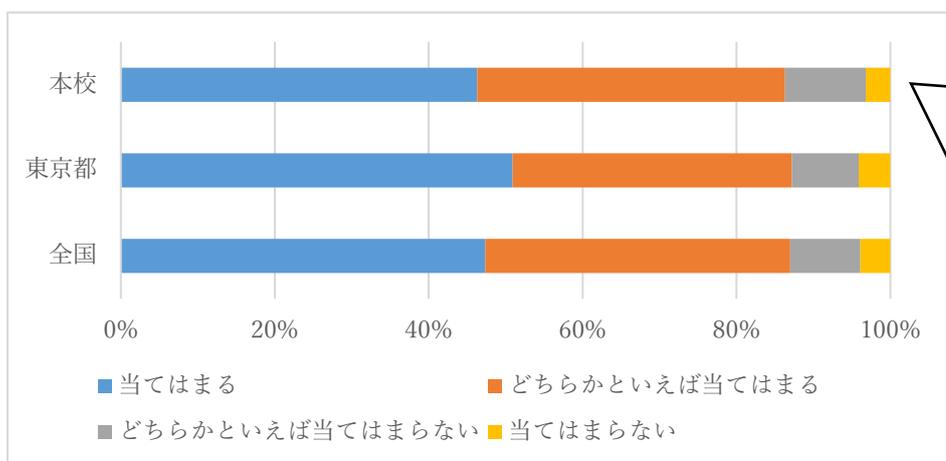
1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない



本校の70%以上の児童が、将来の夢や目標があると回答しました。今後もキャリア教育の充実を図り、子どもたちが将来への見通しや希望をもてるような学習機会を設けていきます。御家庭でも、これからの自分や将来の夢について話し合う時間をつくってみてください。

自分には、よいところがあると思いますか。

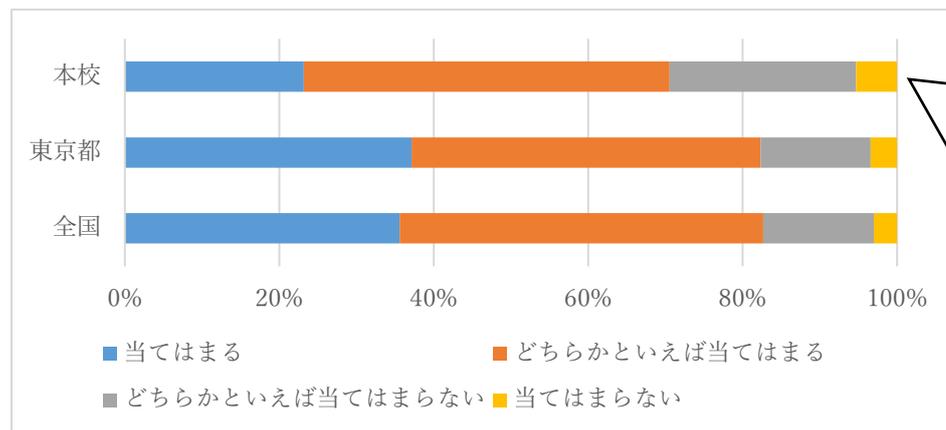
1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない



本校の85%以上の児童が、自分のよさを実感しています。様々な困難を乗り越え、自分らしく自信をもって生きていくために、自己肯定感は大変な土台となります。今後も学校や御家庭において、子どもたちのよさをたくさん認めるなど、言葉の掛け方や接し方を意識していけるとよいと思います。

授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか。

1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない



本校では、70%以上の児童が、学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えていると回答しました。これから中学校に向けて、小学校での学習が基盤となっていきます。御家庭でも小学校の学習の復習などを心掛けてみてください。